

# 平成三十年度 一般入試問題

## 国語

(解答時間 五〇分)

(配点 一〇〇点)

### 〔注意事項〕

1. 問題用紙は開始の合図があるまで開かないこと。
2. 解答用紙に受験番号(算用数字)と氏名を記入すること。
3. 問題番号は□〽〽である。最初に確認すること。
4. 解答はすべて、解答用紙の解答欄に記入すること。
5. 試験終了の合図とともに解答をやめて筆記用具を置き、監督者の指示に従うこと。
6. 問題用紙は各自持ち帰ること。

東京農業大学第一高等学校

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

企業には、株主、顧客、そして従業員という三つの ※ ステイクホルダーがいると以前述べたが、実はこれらだけでなく、もう二つ考慮しておかなければならないことがある。それが「地域社会」と「自然」である。アウトドア関連用品の製造販売を手掛けるパタゴニアの創業者イヴォン・シュイナードとその甥ヴィンセント・スタンリーが著した『レスポンシブル・カンパニー』から私はこのことを教わった。

パタゴニアは綿を素材とする商品にはすべて無農薬のオーガニックコットンを使用しているなど、環境配慮の意識が極めて高い会社である。五つのステイクホルダーへの責任については、以下のように述べられている。

まず、株主に対しては、a 経営状態を健全に保ち、利益を還元することが重要であり、二つ目の顧客には誠実に向き合い、決してうそやでたらめで商品を売り込むのではなく、また (ア) 情報開示などの透明性が大切であるとしている。今や製品やサービスに不満があれば、顧客はすぐにブログなどで全世界に発信できてしまうのだ。一時的に商品を買わせるのに成功しても、もし何か問題があれば後で痛い目にあうのは目に見えている。消費者の側も、(イ) タダほど高いものはない、という言葉覚えておこう。例えばもしも激安焼肉、などと低価格を掲げている外食店があれば、それは何かやはり仕入値に安い理由があつて、食べ続けることで健康被害にあり可能性もあるかもしれない。企業にとつても、何か健康に悪いものを出せば、それが発覚した際にはもう二度と業務はできなくなるだろう。

三つ目のステイクホルダーは従業員であり、これは職場の雰囲気づくりから社員教育、そして給与面での利益還元などが評価指標となる。ブラック企業という言葉をよく目にするが、やはり過酷な労働によって支えられたサービスは決して持続可能でないのだ。

以前、私はパタゴニアの日本支社長である辻井隆行さんにお会いして話を聞いたことがあるが、デニムのジーンズを作

る際に、いかに環境と従業員に配慮しているかについて、様々な現地の写真を見せていただき、大変心を打たれた。ジーンズはデニム特有の青色を出すために、合成インディゴを使用して生地を染色している。しかし合成インディゴはデニムに付着しにくいいため、何度も染めてすぐ必要があり、これが大量の排水を発生させてしまう。また染色後にジーンズの色を落とす加工は、従業員に健康上の危険をもたらす可能性があると言われている。そこでパタゴニアの工場では、硫黄を染料に含ませて色素定着を促進させる革新的な染色工程を採用して半分以下の工程数まで減らし、水の使用料を84%も下げること成功した。また、色を落とすような加工を行わなくても染色だけで仕上がりの色合いをコントロールすることができるようにしたのだ。

四つ目のステイクホルダーは、(ウ)「地域社会」である。ここには、地域住民はもちろん、企業と関係が深いサプライヤー(供給者)も含まれている。サプライヤーとはお互い利用しあつて利益を奪い合うのではなく、お互いが利益になるような効率化をもに進めていくことが重要である。今や分業が進み、原材料の仕入れから製品の発送までサプライチェーン全体で行われているのか分かりにくくなっているが、お互いが情報共有して理解することで、ともに生産性を高めるような合理化も可能になり、また環境負荷も一緒に抑えることができる。また、利益に応じた税負担をすることで地域社会に還元するとともに、直接地域の病院や学校などへ資金協力をする社会 I も必要である。

一部のグローバル企業は、大きな利益を上げてても法律をうまくかいくぐつてその国に税金を払わず、利益をタックスヘイブンといわれる租税<sup>①</sup>カイヒ地に貯め込んでいるが、これは長い目で見て必ず大きなしっぺ返しが来るだろう。グローバル企業といえども、やはり故郷を持つ企業は人々に地に足のついた印象を与え、それが信頼にもつながっていく。《1》その意味で、ここがこの企業の故郷、という土地を持ちたければ、やはり利益はその地域に還元しなければならない。そうしなければ、b 困った時に助けてくれる人は誰もいなくなるだろう。

最後のステイクホルダーは、(エ)「自然」である。残念ながら自然からは直接文句や悲鳴の声を聞くことはできない。し

かし汚染などが深刻になれば、生態系の崩壊などを目の当たりにし、それが長い時間かけて我々の生活を取り返しのつかないマイナスへと向かわせるのである。《2》したがってなるべく早期に対処し、予防していくことが何より大切である。そのためには、新しい製品が安全であり自然の脅威にはならないことを証明する義務を企業は負わなければならないのだ。前述したパタゴニアのシュイナードとスタンリーは、自然に対して、それを資源と呼ぶこと自体、人間は自然を好きないように使える、という驕りがあるという。そして自然に対してそれを環境と呼ぶことは、人間が中心にあつて、その周りに自然がある、という意識があるのではないか、と指摘している。《3》これは本質を突いた厳しい指摘であるが、本書では資源や環境という言葉の使用は許してもらおう。

そして、現在ゴミの4分の3は企業から出たものであり、その意味でゴミのなるべく出ない商品などを考えたり、商品のトータルなライフサイクルコストを考えることは重要である。これは忘れられていることが多いが、モノを作ることだけでなく、それを廃棄する際のコストまで視野にいれて生産を考えるべきなのだ。c、東京でもたくさんマンションが建てられているが、それは50年後に何らかの理由で取り壊すことがあるかもしれないのだ。《4》しかし、現在マンションに住んでいる人で、マンションの廃棄費用は誰が出すのか、気にしたことのある人は少ないのではないだろうか。

また、『レスポンスフル・カンパニー』には自然の役割について興味深い記述があった。それは世界の食糧生産のうち3分の1は、虫や動物の受粉に頼っているそうだ。《5》この動物たちの無償の協力で食糧生産が成り立っているのだが、もしも環境破壊によって受粉が思うようにできなくなったら、誰がそのコストを負担するのだろうか。

さらに、地域社会への貢献や自然への配慮については、そのような取り組みを行っているかどうかチェックする第三者機関も重要であり、この機関により企業は監視、評価されるべきである。NHKの連続テレビ小説「とと姉ちゃん」に登場した雑誌のモデルになった「暮しの手帖」は、ある意味で戦後長い間この第三者機関の役割を果たしてきたといえるだろう。物質的に豊かになりつつあった高度経済成長社会で、悪質な業者による粗悪品も出回り始めたため、多数の商品を実際に

長期間使ってみて比較する商品試験という企画を連載したのだ。そしてこの試験を厳正に行うため、企業の広告を一切とらずに信用を作り上げ、雑誌は庶民に支えられて売り上げを伸ばしていったのだ。

さらに、英国のサステナビリティ社のジョン・エルキントン社長が提案している「トリプルボトムライン」という提案も興味深い。ボトムラインというのは会計用語であり、会計の損益計算書の一番下に三つの行を記載すべきという考えである。通常はここは当期の利益と損失という経済指標を1行書くだけである。それに加えて、環境面での配慮の行、つまりCO<sub>2</sub>の排出削減や資源の節約などを記し、さらに社会面での人権の配慮や社会貢献の行を追加すべき、というものである。これにより、経済、環境、社会の三つの側面で企業評価しようという提案である。

新しい会計制度に関しては、日本でも公共哲学という研究分野で活発に議論がなされており、現在の会計が経済的な価値観のみで一元化されていることに対して強い批判を展開している。そこでは、経済指標を相対化し、他の要因、例えば環境や社会貢献、そして信頼度などの視点とともに同列に扱うことで II を解消しようとしている。ただしそのような新しい指標は、測定が難しいためになかなか議論は進んでいないようであるが、これからは後述するIoT(Internet of Things)技術などで環境から様々なデータが取得できる時代になるため、新たな展開が期待できる。

地域社会や自然をトータルコストで考えることは、いわゆる外部経済の内部化とも呼ばれており、普段はコストと考える外部への波及効果などをコスト計算に入れることで、経済の一部として扱うことに相当する。そしてGDP(国内総生産)をこうした経済以外の要因も含むように拡張すべき、と主張しているのは、ノーベル経済学賞を受賞したジョセフ・スティグリッツ教授である。GDPには幸福の度合いも考慮に入れることが必要であるが、現状では個人にとって重要な多くのことが含まれていないと指摘し、各国政府はGDP崇拜を避けることが重要と語っている。

- A しかし問題は、こうした行為を行っても株式会社の役員は損害をすべてかぶって自己破産、とはならないのである。
- B 自然環境を考えずに多くの資源を摂取してしまうかもしれないし、汚染水を隠れて垂れ流しするかも知れない。
- C これらの話は、企業の社会的責任(CSR)という問題と密接に関わっている。
- D 企業の利益追求が倫理観よりも上回ってしまうと、様々な問題を引き起こしてしまうのだ。
- E また、サービスを向上しようとして過剰に商品を包装することで、資源の消費とゴミの増大を通じて環境負荷を増大させてしまうのだ。

それは、株式会社の従業員や経営者、そして株主は有限責任となっているからで、出資した財産の範囲でのみしか責任を負わないのである。これは d、企業がリスクを取って様々な挑戦的な活動をしやすいするための制度であるが、これが裏目に出てしまうこともありうるのだ。有限責任ということで、外部経済へのマイナス影響をちゃんと考慮せず勝手な行動をしてしまう、ということは許されるものではない。

しかしすべてに明確な法令があるわけではないため、規制が難しい。コンプライアンスとは法令順守であり、企業がこれを守ることは明文化された法に従うことを意味している。しかしCSRは、倫理的な意味も含めた<sup>④</sup> コウギの社会的要請に應えるという考え方なので、その規制は自ら行っていくなくてはならないのだ。近年では、大手企業は自ら社会的な責任を果たしていることをホームページなどで説明しており、企業活動指針を一般に公開して信頼を得られるように努めている。

e、こうした内部規制的な活動が逆に過剰CSRとなって、組織の萎縮を引き起こしてはならない。このバランスは難しい問題であるが、経営学者のマイケル・ポーターは「共通価値の創造(Creating Shared Value, 略してCSV)」という概念を提唱している。これは、利潤を追求する企業活動と、社会的な課題の解決とを同時に行い、CSR活動を通

じて経営の利益に結びつけようとする戦略だ。例えば社会的課題を解決する製品やサービスを販売するとか、地域社会のインフラを整備したり、<sup>⑤</sup>コヨウを創出しながら、自社の事業もそれを利用して拡大していく、などが考えられる。こうした方法でうまく自由と規制のバランスがとれば、ステイクホルダーとWin-Winの関係になるため大変素晴らしい提案だと思う。

(西成活裕『逆説の法則』による)

(注)

※ステイクホルダー……利害関係者

※インフラ……インフラストラクチャーの略

特に社会経済発展の基礎となる電力・水・交通・通信などのこと

問一 傍線部①～⑤について、カタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで答えなさい。

問二 空欄 a～e に入る語として最も適当なものを、次の1～5の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。(同じ数字の解

答は不可)

- 1 そもそも
- 2 もしも
- 3 例えば
- 4 ただし
- 5 もちろん

問三 傍線部(ア)「情報開示などの透明性が大切」とあるのはなぜか。その理由としてふさわしくないものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 商品の内容にうそやでたらめがないか、あるいは、サービスに不備がないかを消費者が見極める力を養えるから。
- 2 うそやでたらめではなくても、製品やサービスに不満があれば、消費者はブログなどで全世界に発信できるから。
- 3 一時的に商品を買わせるのに成功しても、何か問題があれば後で企業側が痛い目にあうことが明らかになるから。
- 4 商品が低価格な場合、仕入れ値が安いことに理由があり、それが原因で健康被害の可能性があるかもしれないから。
- 5 健康に悪いものを出したら、それが原因で業務停止につながるという危険性を企業側は考える必要性があるから。

問四 傍線部(イ)「タダほど高いものはない」とほぼ同じ意味となるものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 損して得とれ
- 2 急がば回れ
- 3 金は天下の回り物
- 4 買うはもらうに勝る
- 5 盗人に追い銭

問五 傍線部(ウ)「地域社会」への配慮の説明として最も適当なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 企業と供給者は互いの利益を意識し、原材料の仕入れから製品の発送までの効率化を図るため一層、分業を進める。
- 2 企業と供給者は両者の利益を考え、生産性を高めることが必要だが、それよりも環境負荷を抑えることを優先する。
- 3 企業は故郷という土地を持ちたければ、地域住民への信頼が必要で、自然を汚染しない製品を作るという義務を負う。
- 4 企業と供給者は情報共有し、生産を高め環境負荷を抑えるとともに、税負担や資金援助で利益をその地域に還元する。
- 5 企業は供給者にとって重要な汚染による生態系の崩壊が、起こらないように予防することを何よりも大切にす。



問六 空欄Ⅰ・Ⅱに入る最も適当な語句を、次の1～5の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

- |   |          |        |         |        |         |
|---|----------|--------|---------|--------|---------|
| Ⅰ | 「 1 福祉   | 2 恩恵   | 3 庇護    | 4 政策   | 5 貢献    |
| Ⅱ | 「 1 利益還元 | 2 経済偏重 | 3 社会的責任 | 4 経営不振 | 5 従業員負担 |

問七 本文中には次の一文が抜けている。本文中の《1》《5》の中から入るべき箇所を一つ選びなさい。

確かに人間は自然の一部であり、もつと謙虚になるべきなのだ。

問八 傍線部(エ)「自然」への配慮の内容として最も適当なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 企業は、環境汚染により我々の生活がマイナスへ向かわない商品を作るために、社員教育を徹底するべきだ。
- 2 自然からは汚染に対する文句や悲鳴の声を聞くことはできないから、企業は従業員の意見に耳を傾けるべきだ。
- 3 企業は、ゴミのなるべく出ない商品を考えたり、廃棄する際のコストまで視野にいれたりして生産を考えるべきだ。
- 4 世界の食糧生産は、虫や動物の受粉という無償の協力で成り立っているので、企業は虫や動物の保全を行うべきだ。
- 5 企業は、粗悪品を防ぐため、多数の商品を実際に長期間使ってみて比較する商品試験を行う義務を負うべきだ。

問九 傍線部(ウ)「地域社会」、傍線部(エ)「自然」とあるが、それらの配慮以外に重要だと筆者が主張していることは何か。最も適当なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 会計の損益計算書の下に書かれる当期の利益と損失という経済指標の測定値をより正確にするための工夫。
- 2 I o T (Internet of Things) 技術などをさらに活性化し、経済的な価値観に関する様々なデータの一層の取得。
- 3 世界の食糧生産を頼っている虫や動物の受粉が、環境破壊によりできなくなった時のコストを負担する対象。
- 4 企業の取り組むべき地域社会への貢献や自然への配慮を行っているか、厳正に監視、評価する第三者機関の存在。
- 5 内部規制的な活動が逆に過剰CSRとなつて、組織の萎縮を引き起こさないような企業活動指針の一般公開の仕方。

問十 本文中のA～Eの文を正しく並びかえたものとして、最も適当なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 C—D—B—E—A      2 C—A—E—D—B      3 C—D—A—B—E
- 4 D—B—A—E—C      5 D—B—E—C—A

問十一 本文の内容と合致しているものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 企業には、株主、顧客、従業員という利害関係者がいるが、いずれにも影響する環境配慮に最も力を入れるべきだ。
- 2 トリプルボトムラインという会計用語は、経済、環境、責任の三つの側面で企業評価をしようという提案である。
- 3 ジョセフ・ステイグリッツ教授は、GDPを経済以外の要因も含むように拡張すべきであると主張している。
- 4 株式会社の株主は有限責任なので、外部経済へのマイナス影響を考慮しない行動をしてしまうのはやむをえない。
- 5 大手企業は、倫理的な内容の社会的要請に応えるために、明文化された法令順守の責任のみを果たす必要がある。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

世界観<sup>※</sup> エンタメとして「社会」を「世界」として捉えるということは、個々の人間を超えて、海や山、宇宙空間、都市や建築物にも相通するような「環境」として「社会」を受け止め、世界描写の中に取り込んでいくことなのだ。そのような意味での「人間」は、「世界観エンタメ」の重要かつ不可欠な要素でもある。それは、個々の個人を超えた、「集団」を捉えることでもある。もっと A 的な言葉では「世間」とか「空気」とか呼ばれる、あのなんともいえない存在、「人間的なあまりに人間的な」、あの感覚のことでもある。

そのような「世界観」は、実に現代的な現象でもある。

多くの社会学者が指摘している通り、<sup>(ア)</sup> 現代社会は、村のような狭い共同体社会を失いつつある。狭い共同体では、個人が意識する他者とは、具体的な「さぶ」とか「栄二」とか、常に顔の見える個人そのものと同じであった。しかし現在、個人としての僕たちは、不特定多数や「世間」に直接さらされるようになっていく。家族も他人、という状況すら生まれるようになる。それは要するに、本来、一つの共同体を構成していたはずの父母兄弟すら、あの巨大な「世間」という冷たく広大な空間に取り込まれ、個人としての「僕」だけが孤独に取り残される、冷たい感覚のことなのだ。友達も同僚も、恋人も「世間」の一要素。このような事態は、本当に人類始まって以来初めてのものなので、僕らはそれにうろたえたり、無力感にうちひしがれてニヒルになったり、逆に他に先んじて適応しようと、ポジティブな構えを作り出そうとしたりしている。多くの「バーチャルなエンタメ」のテーマは、この宇宙空間化した世間で、どのように個人が居場所を見つけたり、自殺しないでポジティブに生きていったりすればいいのか、に関わるようになってきている。

いずれにせよ、「社会」もまた「世界」の一部である。「世界観エンタメ」の目から見て、いわゆる「ドラマ」が、せせこましく、場合によっては「下らなく」さえ見えてしまうのは、それらが、人間を取り巻く、広くて深い「世界」の中から、主人公

をめぐる極度に狭い個別の人間関係のみを、B 的に取り出して見せているためなのである。そういうのは、人間の現実に照らしてあまりにもウソくさく薄っぺらいのである。優れた「世界観エンタメ」の表現においては、人間の社会は、もっと大きなスケールのもとで捉えられるべきなのだ。

再び宮崎駿みやざきを取り上げて、「時空」としての社会のイメージに肉薄してみよう。評論家の岡田斗司夫がテレビ番組で行っていた発言の中で、(イ) 宮崎駿の「スゴさ」を表す実例として、アニメ版※『風の谷のナウシカ』が取り上げられていたことがある。それは、ナウシカが、風の谷に攻め込んできたトルメキア軍に、族長である父親を殺害され、怒りに身を任せて兵士たちをなぎ倒した直後のシーンである。

トルメキア軍の大柄な兵士とあわや相打ちとなりかけたナウシカの前に、ナウシカの理解者である旅の剣士ユパが現れる。事態を見守っていた、トルメキア王家の指揮官クシヤナ殿下に、士官の一人がささやく。「あの男、ユパです」。岡田は、このセリフを「スゴイ」と絶賛するのだ。

この一言は、単純な説明的セリフに過ぎないようでもあるが、実は、非常にC 的な情報を物語っている。単純には、「ユパが強くて有名」ということを観客に印象付けるセリフなのだが、そこに微妙なニュアンスがある。発言者は、あくまで士官なのである。ユパの知名度は、せいぜい士官レベルに留まっており、クシヤナ殿下のような貴族は、ユパの顔を知らないし、その機会がない。そのことを知っているからこそ、士官はこっそりと耳打ちするのである。ユパが活動するのは、貴族たちの上流階級ではなく、士官や兵士が活動する、どちらかといえば中・下層の社会領域なのである。荒くれた男たちが行き交う社会空間の中でこそ、顔を知られているユパ。しかし、その突出した強さゆえに、クシヤナ殿下レベルの「超セレブ」でも、その名前くらいは知っているのである。だが、ユパはあくまで庶民の世界で生きているので、セレブたちには、その顔を目にするチャンスがないのである。

この絶妙な広がり感を、たった一言のセリフが伝えてくれる。そこを岡田は絶賛するのだ。貴族と平民とがはっきりと

分かれた階層社会と、その広がり、その中でのユパの強さとステータスの微妙さ。それが一瞬で浮かび上がるのである。つまりは、「世間」としか言いようのない、個別の人間関係を越えた、巨大な「社会環境」が立ち現れてくるのである。

この「社会」というキーワードにおいて、「世界観エンタメ」と「伝統的なドラマ」のそれぞれの領域は接点を持ち始めるのであるが、そのアプローチは非常に D 的である。

伝統的なドラマは、つまりは、「個人」を出発点とする。それぞれの事情を抱えた複数の個人が、時にいがみ合ったり、協力したり、騙し合ったり、愛し合ったりする。そこで生まれる「泣き笑い」を重視するのが伝統的なドラマである。そこでは「社会」とは、ドラマを構成するキャラクター個人のステータスであったり、理解者(恋愛の相談役とか)を得られる※リソースであったりするが、要するに個人の属性の一つに過ぎない。

対して、「世界観エンタメ」では、「あの男、ユパです」というセリフに見る通り、社会とは、海や山、時空間と同じような、「環境」として捉えられるのである。この「環境」としての社会を感じる人間の感受性を、「空間感覚」や「時間感覚」に付け加えて「社会感覚」と呼ぶこともできるかもしれない。「空間感覚」や「時間感覚」を無機質的に表現するのではなく、人間的現実を投影することで「面白く」なる、ということを通じては、この社会感覚を、無機質的な時空間の中へとアメーバのように侵食させていくことで、人間的現実の投影が起きるといえるかもしれない。

例えば、優れた「時間感覚」の表現として、※『千と千尋』の「雑魚寝」のシーンを取り上げたが、このシーンが表現しているのは、「湯屋」という社会環境が生きている「時間」に他ならない。単なる機械的・動物的な時間知覚の中に、「湯屋」ならではの「社会感覚」が入り込んだ時、そこに ウ 人間にしか感じ取ることのできない「面白さ」が生まれるのだ。

(都留泰作『面白さの研究』による)

(注)

※エンタメ(エンターテイメントの略)……人々を楽しませる娯楽

※『風の谷のナウシカ』……宮崎駿監督のアニメ映画、SFファンタジー作品のこと

※リソース……資源・供給源

※『千と千尋』……スタジオジブリ制作の長編アニメ作品、宮崎駿監督の『千と千尋の神隠し』のこと

問一 空欄A～Dに入る語として最も適当なものを、次の1～5の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。(同じ数字の解答は不可)

- 1 特権
- 2 重層
- 3 近代
- 4 対照
- 5 日常

問二 傍線部(ア)「現代社会は、村のような狭い共同体社会を失いつつある」とはどういうことか、最も適当なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 友達も恋人も宇宙空間化した現代社会では、各個人が孤独にならないように努力が必要であるということ。
- 2 個人としての僕たちが「世間」と直接関わることで、家族も他人という見方が出来るようになったということ。
- 3 個人が意識する他者とは、常に顔の見える個人そのものと同一であり、家族もまた他人であると言えること。
- 4 一つの共同体を構成する父母兄弟も、「世間」という広大な空間に取り込まれ、個人が意識する他者となること。
- 5 村のような狭い共同体の中では、「世間」という広い社会に見られるような孤独感を感じられないということ。

問三 傍線部(イ)「宮崎駿の「スゴさ」を表す実例」とあるが、岡田斗司夫はどのような点を「スゴ」と述べているか、八十  
字以内で説明しなさい。(句読点も字数として数える)

問四 傍線部(ウ)「人間にしか感じ取ることのできない『面白さ』が生まれる」とあるが、どのようにすれば「面白さ」が生ま  
れるのか、四十五字以内で答えなさい。(句読点も字数として数える)

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

嵯峨に能説房といふ説経師ありけり。随分弁説<sup>a</sup>の僧なりけり。隣に<sup>※</sup>沽酒家<sup>こしほ</sup>の徳人の尼ありけり。能説房、きはめたる愛酒にて、布施物をもつて一向に酒を買ひて飲みけり。ある時は<sup>※</sup>おきのりて、布施出でくればやりけり。

この尼公、仏事することありけるに、能説房を導師に請<sup>しやう</sup>じければ、近き辺り<sup>b</sup>の者、これを聞きて、能説房に申しけるは、「この尼公の酒を売り候ふ一の難には、<sup>(ア)</sup>水を入れて候ふほどに、思ふほどもなし。今日<sup>c</sup>の御説法のついでに、酒に水入れて売るが罪なること、細やかに仰せられ候へ。我々がためも然るべく候ふ」といふ。

能説房申しけるは、「おのおの仰せられぬ先に、法師もうち存じて候ふぞ。今日、日ごろ<sup>d</sup>の本意開くべし」とて、仏經の<sup>※</sup>釈はただ大方ばかりにて、酒に水入るる罪障を勸進して、<sup>(イ)</sup>少々は無きことまで細やかにいひけり。

さて説法終はりて、尼公、その辺りの聴衆をみな呼びて、大きな桶に、たぶらかに酒を入れて、とり出でて勧めけり。能説房、上座して、盃とりあげて呑みけり。この尼公、「浅ましく候ひけるかな。酒に水入るるは罪にて候ひけるをも知らで」といひければ、「水<sup>e</sup>の少し入りたるだにもよし、今日はいかにめでたからん」と<sup>(ウ)</sup>思ふほどに、能説房、「あつ」といひければ、「いかによかるらん」と、感ずる声かと聞くほどに、「日ごろはちと<sup>A</sup>くさき<sup>B</sup>にてこそ候ひしに、これは、ちと<sup>C</sup>くさき<sup>D</sup>にて候ふは、いかに」といひければ、「さも候ふらん。酒に水入るるは罪と仰せられ候ひつる間、これは水に酒を入れて候ふ」とて、大きな桶に水を入れて、酒を<sup>※</sup>一ひさげばかり入れたりける。<sup>(エ)</sup>この尼公、<sup>※</sup>興懐にしたりけるにや、またまことに心得たりけるにや。

(『沙石集』による)



(注)

※沽酒家の徳人の尼……酒屋を営む金持ちの尼

※おきのりて……つけ払いにして

※釈……経典の講釈、解説

※一ひさげ……容器一杯分

※興懷……洒落

問一 傍線部 a ～ e の「の」の中で、使い方の違うものとして最も適当なものを、次の 1 ～ 5 の中から一つ選びなさい。

- 1 a
- 2 b
- 3 c
- 4 d
- 5 e

問二 傍線部(ア)「水を入れて候ふほどに、思ふほどもなし」の解釈として最も適当なものを、次の 1 ～ 5 の中から一つ選びなさい。

- 1 酒に入れる水が良くないので、思ったほどの味がしない
- 2 酒造りをさぼっているので、思ったほどの味がしない
- 3 酒に水を入れてあるが、何とも思っていない
- 4 酒に水を入れてあるので、思ったほどの味がしない
- 5 酒を水から作ることが、罪とはまったく思っていない

問三 傍線部(イ)「少々は無きことまで細やかにいひけり」とあるが、能説房がこのようにした理由として、最も適当なもの、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 常日頃から、酒を高く売る尼公の態度に人々が不満を持っていることを知ったので、なんとかその仲を取り持つてやろうと仏教とは関係ない話をしようとしたから。
- 2 仏教上の罪をあまねく述べることで、良くない酒を売る尼公を、公衆の面前で完膚なきまでに糾弾して恥をかかせてやろうと考えたから。
- 3 仏教の解説に根も葉もないことを付け加え、良くない酒を売る尼公に対して、自分も近辺の人も同様に感じている不満を伝えようとしたから。
- 4 尼公を非難するために、尼公がやってもない酒に水を入れるということを尼公の罪として数え上げ、まくしたてて強く反省させようとしたから。
- 5 酒をまずくして売るといふ尼公の行動は、少しは我慢できるものだったので、仏教上の罪にたとえて穏やかな態度で説明しようとしたから。

問四 傍線部(ウ)「思ふ」とあるが、思ったのは誰か。最も適当なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 近き辺りの者
- 2 能説房
- 3 尼公
- 4 聴衆
- 5 作者

問五 空欄A～Dに入る語の組み合わせとして最も適当なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | A | 酒 | B | 水 | C | 水 | D | 酒 |
| 2 | A | 水 | B | 水 | C | 酒 | D | 酒 |
| 3 | A | 水 | B | 酒 | C | 酒 | D | 水 |
| 4 | A | 酒 | B | 酒 | C | 水 | D | 水 |
| 5 | A | 水 | B | 酒 | C | 水 | D | 酒 |

問六 傍線部(エ)「この尼公、興懷にしたりけるにや、またまことに心得たりけるにや」とあるが、この部分の効果として最も適当なものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 この尼公の行為が洒落によるものか、説法を真に受けてした行為なのかと問うことで、説法した能説房と尼公、二人の人物のあたかも狐と狸の化かし合いのような様子を生き生きと描きだす効果がある。
- 2 尼公が非難された復讐に今までにまづい酒を人々にのませてやりこめる様子で、尼公の方が些細なことにまるで気を配る人間的に優れた人物だということを表す効果がある。
- 3 この尼公は洒落で酒と水をすり替えたのだが、人々がそれを尼公が本気でした行為だと述べることで、酒のうまみまづいという些細なことで一喜一憂する愚かな人々の様子を表す効果がある。
- 4 この尼公が真摯な態度で良い酒を提供したのに、まだ酒がまづかったことに関して本気で怒っている能説房は、単純で仏教を信仰する資格がない人物だと示す効果がある。
- 5 人をだまし、悪い酒を良い酒と偽って売る尼公と、それを、よく知りもしない仏教の教えを持ち出して説教した能説房とは、甲乙つけがたい非凡な人物だと示す効果がある。

問七 『沙石集』は鎌倉時代の作品であるが、鎌倉時代の作品ではないものを、次の1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 『徒然草』
- 2 『平家物語』
- 3 『方丈記』
- 4 『枕草子』
- 5 『宇治拾遺物語』



# 平成30年度 一般入試問題

## 数 学

(解答時間 50分)

(配 点 100点)

### [注 意 事 項]

1. 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
2. 解答用紙に受験番号(算用数字)と氏名を記入すること。
3. 問題番号は①～⑥です。最初に確認すること。
4. 解答はすべて、解答用紙の解答欄に記入すること。
5. 試験終了の合図とともに解答をやめて筆記用具を置き、監督者の指示に従うこと。
6. 問題用紙は各自持ち帰ること。

東京農業大学第一高等学校

**1**

次の式を簡単にしなさい。

$$(1) \frac{1}{4 \times 5 \times 6} + \frac{1}{5 \times 6 \times 7} + \frac{1}{6 \times 7 \times 8} + \frac{1}{7 \times 8 \times 9} + \frac{1}{8 \times 9 \times 10}$$

$$(2) 2 \div \left\{ (-0.75)^2 - \frac{5}{8} \right\} - 2^3 \times \left( \frac{1}{2} \right)^3 \div 0.125$$

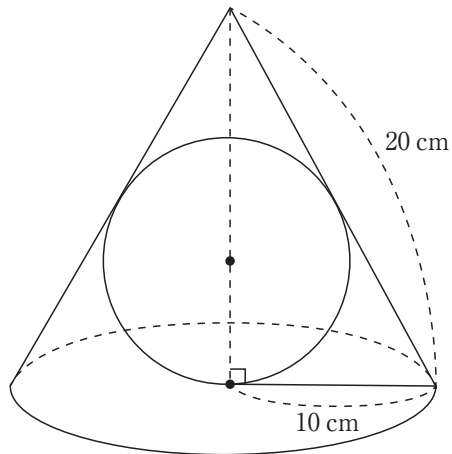
$$(3) (-3x^3y^2z^3)^3 \times \left( \frac{x^4y}{6z^3} \right) \div \left( -\frac{x^4z^3}{2y} \right)^2$$

$$(4) \frac{a+b-2c}{6} - \frac{a-2b-4c}{3} + \frac{5a-(3b-4c)}{2}$$

**2**

次の問いに答えなさい。

- (1)  $4a^4b^4 - 29a^2b^2 + 25$  を因数分解しなさい。
- (2)  $\sqrt{400 - 5x}$  が整数となるような自然数  $x$  の値をすべて求めなさい。
- (3) 関数  $y = \frac{1}{2}x^2$  について、 $x$  の値が  $a$  から 1 まで増加するときの変化の割合と、 $a+2$  から  $a+5$  まで増加するときの変化の割合が等しいとき、 $a$  の値を求めなさい。
- (4) 図のように、底面の半径が 10 cm の円錐の側面と底面に、内部で接している球がある。この球の半径を求めなさい。





**3**

自動車で出かける計画を立てた。一般道路では毎時 40 km，高速道路では毎時 80 km の速さで走行すると，目的地まで 5 時間かかることが分かった。一般道路ではガソリン 1 L 当たり 12 km，高速道路ではガソリン 1 L 当たり 14 km 走るとすると，ガソリンの使用量は 25 L になる。このとき，次の問いに答えなさい。

- (1) 一般道路と高速道路の道のりを求めなさい。
  
- (2) 予定当日，実際に出かけたところ，高速道路の途中で渋滞にあっ  
てしまい，予定時間よりも 27 分多くかかってしまった。渋滞中の自動  
車の平均速度を毎時 8 km とすると，渋滞にあった時間は何分間  
であったか答えなさい。

**4**

2個のさいころ A, B を同時に投げて, 出た目をそれぞれ  $a, b$  とする。

次の確率を求めなさい。

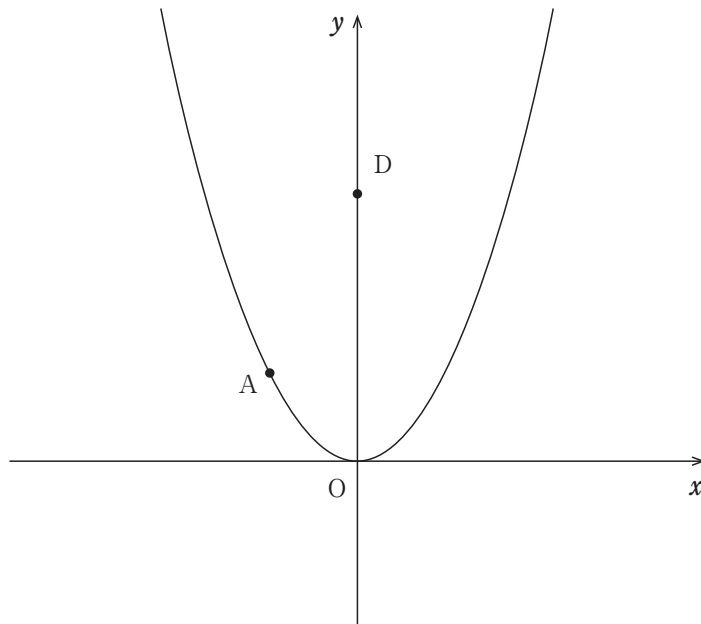
(1)  $\sqrt{\frac{b}{a}}$  が有理数となる確率。

(2) 2次方程式  $x^2 - ax + b = 0$  のすべての解が整数となる確率。

**5**

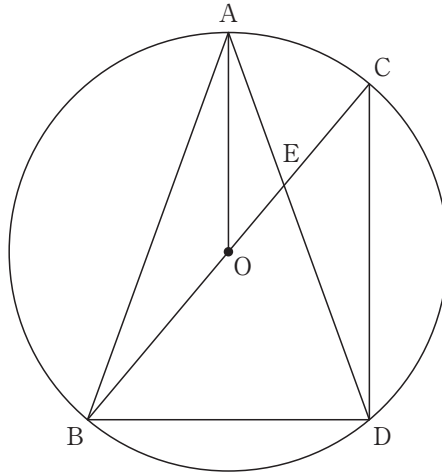
図のように、放物線  $y = \frac{1}{2}x^2$  上に点 A  $(-2, 2)$  があり、 $y$  軸上に点 D  $(0, 6)$  がある。放物線上に点 B, C をとり、四角形 ABCD は平行四辺形であるとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 点 B の座標を  $(t, \frac{1}{2}t^2)$  とするとき、点 C の座標を  $t$  を用いて表しなさい。
- (2) 直線 AC の式を  $t$  を用いずに求めなさい。
- (3) 四角形 ABCD の面積  $S$  を求めなさい。
- (4)  $(3, 0)$  を通り、平行四辺形 ABCD の面積を二等分する直線の式を求めなさい。



6

図のように、円  $O$  の円周上に 4 点  $A, B, C, D$  があり、線分  $AO$  は  $\angle BAD$  を二等分する。線分  $BC$  は円  $O$  の直径であり、線分  $AD$  と  $BC$  の交点を  $E$  とするとき、次の問いに答えなさい。



- (1) 以下は  $\triangle AOE \sim \triangle DCE$  の証明です。この証明の空白部分を解答欄の中に書き、証明を完成させなさい。

(証明)

$\triangle AOE$  と  $\triangle DCE$  において

対頂角が等しいから

$$\angle OEA = \angle CED \quad \text{——— ①}$$

以上より

2 組の角がそれぞれ等しいから

$\triangle AOE \sim \triangle DCE$

(証明終了)

- (2)  $\angle CBD$  が  $56^\circ$  のとき、 $\angle BAO$  を求めなさい。

平成30年度 一般入試問題

数学 解答用紙

〈注〉※欄には記入しないこと。

1	(1)	(2)	(3)	(4)

2	(1)		(2)	
	(3)	(4)		
		cm		

※小計A

--

3	(1)		(2)
	一般道路	高速道路	分間
	km	km	

4	(1)	(2)

5	(1)		(2)	
	( , )			
	(3)	(4)		

※小計B

--

6	(1)		(2)
			。

※小計C

--

※合計

--

受験番号	氏名

# 平成30年度 一般入試問題

## 英 語

(解答時間 60分)

(配 点 100点)

### [注 意 事 項]

1. 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
2. 解答用紙に受験番号(算用数字)と氏名を記入すること。
3. 問題番号は①～⑤です。最初に確認すること。
4. ①は放送によるリスニング問題です。なお、リスニングは試験の最初に行います。
5. 解答はすべて、解答用紙の解答欄に記入すること。
6. 試験終了の合図とともに解答をやめて筆記用具を置き、監督者の指示に従うこと。
7. 問題用紙は各自持ち帰ること。

東京農業大学第一高等学校

1 次の設問Part 1～3に答えなさい。

Part 1

これから、会話文が2つ流れます。それぞれの会話文の後に、会話文に対する質問が流れます。質問に対する答えを最もよく表わしている絵を(A)～(D)の中から1つ選び、それぞれ記号で答えなさい。音声は1回しか流れませんので、注意して聞いてください。

Q1

(A)



(B)



(C)



(D)



Q2

(A)



(B)



(C)



(D)



Part 2

これから二人のやや長めの会話文が2つ流れます。その会話文を聞いた後、印刷されている質問に対する最も適切な答えを(A)～(D)の中から1つ選び、それぞれ記号で答えなさい。音声は1回しか流れませんので、注意して聞いてください。

Q3

Question: What will the man probably do next?

- (A) He will order some pizza.
- (B) He will change the order from pasta to pizza.
- (C) He will order salad and pasta.
- (D) He will eat both green and tomato salads.

Q4

Question: Why do the parents refuse to buy a new instrument?

- (A) Because they want the boy to study a lot.
- (B) Because they want the boy to spend more time on the ones he has.
- (C) Because they want the boy to go to a music school.
- (D) Because they want the boy to be a pianist.



### Part 3

Q5 これからひとつの課題英文が2回流れます。その後で、内容に関する質問が2回流れます。答えとして最も適切なものを、(A)～(D)の中から1つ選び、記号で答えなさい。英文は2回流れますが、質問を聞いた後に、もう1度英文を聞くことはできませんので、注意して聞いてください。

これでリスニングテストは終わりです。

2 次の設問(問1・2)に答えなさい。

問1 次の英文の( )に当てはまるものをア～エから1つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

1. A : It has been ( ) heavily since last week.

B : Right! Yesterday, the football game was canceled because of it.

ア rain

イ rained

ウ raining

エ rains

2. A : I hope he won't keep us ( ).

B : Sure. He is always late.

ア for waiting

イ to wait

ウ waited

エ waiting

3. A : What is that?

B : It's something ( ) used for writing.

ア is always

イ is like

ウ that is

エ who is

4. A : Oh, it's beginning to rain! I haven't got my umbrella with me today.

B : It was careless ( ) you not to check the weather forecast.

ア about

イ for

ウ of

エ with

5. A : Excuse me. Do you know ( )?

B : Yes. Go straight and turn left at the third corner. You'll find it on your right.

ア how do you come to the nearest post office

イ how the nearest post office is

ウ where is the nearest post office

エ where the nearest post office is

6. A : You wear nice shoes.

B : Thank you. My sister ( ) for my birthday.

ア gave me for them

イ gave me to them

ウ gave them for me

エ gave them to me

7. A : Don't forget to call me tomorrow.

B : ( )

ア No, I'm not.

イ No, I won't.

ウ Yes, I do.

エ Yes, I am.

8. A : Does your mother like oranges?

B : Yes. She likes oranges ( ) all fruits.

ア better than

イ more than

ウ much of

エ the best of

9. A : Have you ever been to a foreign country?

B : Yes, I have. I ( ) France two years ago.

ア have been to

イ have visited

ウ visited

エ went

10. A : I'm going to have a tennis tournament next Sunday. My friend  
says, "It's very hard to win."

B : Oh, is it? Good luck.

A : Thank you. ( )

ア I need it.

イ Me, too.

ウ Not at all.

エ With pleasure.

問2 次の英文の( )内の語(句)を並べかえて、日本文の意味を表す英文を完成しなさい。ただし、文頭に来る語(句)も小文字にしてあります。

1. 私の家より彼のほうが少し学校に近いです。

( a little / his / house / is / nearer / our school / than / to ) mine.

2. そのカメラはどこか故障しているにちがいません。

( be / camera / must / something / the / with / wrong ).

3. トムは妹に自分の仕事を手伝わせました。

Tom ( help / him / his sister / his work / made / with ).

4. 彼は姿を見られないように部屋を出ようとした。

He tried ( being / go / out of / seen / the room / to / without ).

3 次の設問(A～D)に答えなさい。

A 次の各英文の下線部の意味として適切なものをア～エから1つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

1. Those women work very hard and in difficult conditions. They deserve to be paid more.

ア be good enough or have the right to get something

イ give someone food or drink, especially as part of a meal

ウ say or show that they will not do anything

エ use something only in one special situation

2. Nancy's teachers were very succinct in their report to her parents. They had simply written: "A model student."

ア busy or full of energy, and often excited

イ can clearly express something in a few words

ウ use a lot of information

エ well-known to many people

3. While she was waiting at the dentist's, she browsed over a magazine, just looking at the pictures of famous people.

ア to look carefully for someone or something that is difficult to find

イ to look through something for no special reason

ウ to meet someone or find or discover something by chance

エ to read something in a careful way

B 次の英文の空所( 1 )～( 4 )に当てはまる語(句)をア～エから1つ  
選び、それぞれ記号で答えなさい。\*印は注があることを示します。

In China, farmers are discovering that there are advantages to planting potatoes, compared with traditional grains such as rice or \*wheat. ( 1 ), potatoes need less water to grow than rice or wheat. ( 2 ), they can be grown in areas of the country where other crops often fail because of lack of rain. ( 3 ) advantage to the potato is that it is richer in calories and in vitamins and minerals. That is, a field planted with potatoes will provide more food value than one planted with rice or wheat. ( 4 ), potatoes are a crop that can be easily \*combined with other crops. For example, in southern China, farmers can plant potatoes in rice fields during the winter. They get an extra crop and extra \*cash this way, and the potatoes improve the \*soil for the rice.

注 wheat 小麦      combine 結合させる      cash 現金  
soil 土地、土壌

- ア Another
- イ Finally
- ウ First of all
- エ In this way

C 次の英文の空所に、ア～エの英文を文意が通るように並べかえて、記号で答えなさい。

The shape of the earth is always changing. These changes have many different causes. Some come from forces below ground. These forces can cause an earthquake or a tsunami. And later, the land often looks very different. Changes also happen because of the weather.

At the seaside, waves can move the land in a direction away from the sea.

- ア Finally, water can also change the shape of the land.
- イ For example, a river can make a deep cut into a mountain.
- ウ Also, in the desert, the wind blows the sand and changes the shapes of the hills.
- エ Many years of rain, for example, can wash away dirt and change the shape of rocks.



D 次の英文の空所[ 1 ]～[ 4 ]に当てはまる英文をア～カから1つ選び、それぞれ記号で答えなさい。\*印は注があることを示します。

There are many \*myths, or false ideas, about sharks. One idea is that sharks like to eat people. Although some sharks can eat people, we are not really on their menu. [ 1 ], especially if the fish or mammals are weak or dead. Many sharks have \*rows of sharp teeth. When teeth are lost, other teeth move in to replace them.

The whale shark — which is not a whale — is Earth's biggest fish. Whales are bigger than sharks, but they are mammals, not fish. The great white shark is perhaps the most dangerous to people. Great whites are large sharks that are known to attack people. Such attacks are rare, though. [ 2 ].

Because sharks have been on Earth for thousands of years, they are thought to be \*primitive, simple animals. This is another myth. Sharks are really very \*complex creatures. [ 3 ]. Some have \*organs on their long noses that pick up \*electric currents made by the muscles of swimming fish. Sharks have large brains, and they learn quickly. They have a good memory and can be trained.

Many people believe that sharks are dangerous. Some of these people think it would be better if there were no sharks. [ 4 ]. They are scavengers that clean up garbage from ships and waste from the ocean. They help other species of sea animals stay strong by eating animals that are sick or weak.

注 myth	神話	row	列、並び	primitive	原始的な
complex	複雑な	organ	器官	electric current	電流

- ア But sharks are useful to humans
- イ For example, they don't see well, especially in the dark
- ウ It is believed that they take place when a shark mistakes a person for something else
- エ Sharks usually eat fish or sea mammals such as seals
- オ They have a powerful sense of smell and have sharp hearing
- カ The truth is that a shark often attacks from below, without showing its fin above the water

4 次の英文を読んで、後の設問(問1～5)に答えなさい。

\*印は注があることを示します。

Every holiday season since I was a teenager, Dad asked, “Do you remember that Christmas Eve? Remember those two little children who asked us for money for the bus?”

Yes, I remembered. Even if my father had not reminded me of that strange event every season for more than thirty-five years, I would have remembered.

It was 1935, on Christmas Eve in \*St. Louis, Missouri. Streetcars sounded their warnings. Shoppers ran in and out of stores for last-minute gifts. Even then, mothers forgot a few things necessary to complete the family Christmas dinner. Mother had sent Dad and me on such a mission.

It was so cold that we hurried from the car to her favorite food store on \*Delmar Avenue. Mother liked \*Moll’s because it had so many spices and good foods.

In the shop, we hurried selecting vegetables for Christmas breakfast bread, double whipping cream and nuts for pumpkin pies, and day-old bread for a chicken meal. We checked the last thing off Mother’s list and paid the money.

Once again we wore the coats for the cold evening. As we stepped out of the store, a small voice asked, “Please, would you give us money for the bus so we can go home?”

Taken aback, Dad stopped. Our eyes met those of a little girl around nine years old. She was holding the gloveless hand of her six-year-old brother.

“Where do you live?” Dad asked.

“On \*Easton Avenue,” was the reply.

We were amazed. Here it was night — Christmas Eve night — and these two children were more than three kilometers from home.

“What are you doing so far from home?” Dad asked her.

“We had only enough money to ride the bus here,” she said. “We came to ask for money to buy food for Christmas. But no one gave us any and we are afraid to walk home.” Then she told us that their father was blind, their mother was sick, and there were five other children at home.

My dad was a serious business man. But his heart was soft and warm, just like the little girl’s brown eyes. “Well, the first thing I think we should do is shop for food,” he announced, taking her hand. Her brother quickly reached for mine.

Once again we hurried inside Moll’s. This time Dad selected two chickens, potatoes, carrots, milk, bread, oranges, apples, bananas, candy and nuts. When we left the store, we had two huge bags of food to carry to the car and two small trusting children.

They gave us directions to Easton Avenue. “Home” was upstairs in a large, old brick building. The first floor was the shop of a company, which was closed then. There was one light bulb going on and off on the ceiling as we climbed the old wooden steps to their apartment.

The little girl and her brother ran inside announcing the arrival of two bags of food. The family was just as she had explained: The father was blind and the mother was ill in bed. Five other children, most of them with colds, were on the floor.

Dad introduced himself and set the food on a table.

The father said, “Thank you. My name is Earl Withers.”

“Withers?” Dad turned sharply. “You wouldn’t know Hal Withers, would you?”

“Sure do. He’s my uncle.”

Both Dad and I had no voice. My aunt was married to Hal Withers. Although we were not blood relatives, we felt connected to Uncle Hal. How could the sad situation of this family be? Why were they in such need when they had so many relatives living in the same city? A strange \*coincidence, indeed.

Or was it?

Through the years we never forgot that event. Every year seemed to have a different answer to the question, “What was the meaning of that Christmas Eve?”

At first, the phrase repeatedly told by elderly aunts, “God works in strange and mysterious ways,” came out. Perhaps Dad acted out the \*Good Samaritan role. That was it! God had a job for us to do and luckily we did it.

Another year passed. We did not think it was a perfect answer. What was? If I am my brother’s keeper, am I also my wife’s sister’s husband’s brother’s blind son’s keeper? That was it! This tied that day into a perfect answer.

Yet it didn’t. The years rolled by, and each year Dad and I would discuss the question. Then Dad, who was born in the Christmas season of 1881, died in the Christmas season of 1972. Every December since, though, I still hear him ask me, “ A”

Yes, Dad. I remember. And I believe I finally have the answer. We were the ones \*blessed when two children \*innocently gave a middle-aged father and his teenaged daughter the true meaning of Christmas: It is more blessed to ( B ) than to receive.

This gift-wrapped memory became the most beautiful Christmas I ever celebrated. I think it was your best one, too, Dad.

注 St. Louis, Missouri ミズーリ州セントルイス(町の名前)

Delmar Avenue デルマー通り

Moll's モルズ(店の名前)

Easton Avenue イーストン通り

coincidence 偶然の一致

Good Samaritan 良きサマリア人(聖書の中に出てくる物語の中でキリストが隣人愛を説明するときに例え話として用いた)

blessed 祝福された

innocently 純粋に

問1 次のア～オの出来事を物語の中で起こった順に並べかえ、記号で答えなさい。

ア Dad and I got to know the girl's family name and we found out the fact.

イ Dad and I met the children's parents at their home.

ウ Dad and I understood the children's situation, so we bought some food for them and took it to their home.

エ On Christmas Eve, Dad and I went out to buy some food for Christmas.

オ When Dad and I went out of the store, a little girl asked us to give her money.

問2 次の質問に対する答えとして適切なものをア～エから1つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

1. Why did the little girl go to Moll's?

- ア She got lost and couldn't return home.
- イ She wanted to buy Christmas food.
- ウ She was asked to buy food by her mother.
- エ She was just going back home.

2. Why did the little girl ask Dad and me for money when she first met us?

- ア She wanted to buy some Christmas presents.
- イ She wanted to cure her mother's disease.
- ウ She wanted to get money to return home by bus.
- エ She wanted to prepare for Christmas.

3. What did Dad do first after he heard the little girl's situation?

- ア He gave her money to prepare for Christmas.
- イ He returned back to the shop to buy some food for her family.
- ウ He took her to her home by car.
- エ He visited her father to introduce himself.

4. How was the situation of the little girl's family?

- ア All of her family members were in bad health.
- イ Her family was in a poor condition.
- ウ Her uncle took care of her family.
- エ There were five children in her family.

5. What did Dad realize after meeting the little girl's father?

- ア He realized that the girl's family was one of his relatives.
- イ He realized that the girl's father was his uncle.
- ウ He realized that he didn't have many relatives in the city.
- エ He realized that his aunt was married to the girl's father.

問3 本文中の空所  に入るふさわしい英文(1文)を、本文中から抜き出して書きなさい。

問4 本文中の( B )に入るふさわしい英語(1語)を書きなさい。



問5 次の英文はこの話を読んだ後、生徒が話をまとめたものです。空所に入る適切な英語を(ア)～(ク)の中から1つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

This is the story of an event that occurred to a father and his daughter. The father was kind enough to help a little girl's family. And later it became clear that they were ( 1 ). However, the story did not finish. The daughter and her father have been thinking about the ( 2 ) of this event for a long time. The daughter and her father thought that they got the ( 3 ) to the question, but they did not think it was perfect. After her father ( 4 ), the daughter got the final ( 3 ) to the question. That became the most valuable memory of her ( 5 ).

(ア) relatives

(イ) fact

(ウ) meaning

(エ) answer

(オ) met his uncle

(カ) mother

(キ) passed away

(ク) father

問6 この物語に表題をつけるとしたら次のどれが最もふさわしいか、記号で答えなさい。

ア A Gift-Wrapped Memory with Dad

イ A Little Girl's Lucky Day

ウ Finding Unknown Relatives

エ The Mysterious Work of God

- 5 以下の絵の場面を説明する英文を、与えられた書き出しに続けて書きなさい。ただし、語群の中から必ず1つは用いること。



【語群】 [ but / because / so ]

【書き出し】

At the front desk of a hotel a woman \_\_\_\_\_

---

# 平成30年度 一般入試 英語 解答用紙

〈注〉※欄には記入しないこと。

**1**

Q1 \_\_\_\_\_ Q2 \_\_\_\_\_

Q3 \_\_\_\_\_ Q4 \_\_\_\_\_ Q5 \_\_\_\_\_

※

**2**

問1 1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_

6 \_\_\_\_\_ 7 \_\_\_\_\_ 8 \_\_\_\_\_ 9 \_\_\_\_\_ 10 \_\_\_\_\_

問2 1 \_\_\_\_\_ mine.

2 \_\_\_\_\_.

3 Tom \_\_\_\_\_.

4 He tried \_\_\_\_\_.

※

※

**3**

A 1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_

B (1) \_\_\_\_\_ (2) \_\_\_\_\_ (3) \_\_\_\_\_ (4) \_\_\_\_\_

C \_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_

D [1] \_\_\_\_\_ [2] \_\_\_\_\_ [3] \_\_\_\_\_ [4] \_\_\_\_\_

※

**4**

問1 \_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_

問2 1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_

問3 \_\_\_\_\_

問4 \_\_\_\_\_

問5 (1) \_\_\_\_\_ (2) \_\_\_\_\_ (3) \_\_\_\_\_ (4) \_\_\_\_\_ (5) \_\_\_\_\_

問6 \_\_\_\_\_

※

※

**5**

At the front desk of a hotel a woman \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

※

受験番号	氏 名
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border-right: 1px dashed black; width: 20%;"></div> <div style="border-right: 1px dashed black; width: 20%;"></div> <div style="border-right: 1px dashed black; width: 20%;"></div> <div style="width: 40%;"></div> </div>	